

「果たして九州男児は存在するのか？」から24年 「さす九」について考える



2001年に北九州博覧祭において、「果たして九州男児は存在するのか？」という、男性の家事や育児への参画について、ママサミ「マミーズサミット・全国ネット」(全国的な子育て支援社会起業家ネットワーク)が調査を行い、シンポジウムを開催しました。

そこから24年たち、今では専業主婦は「絶滅危惧種」といわれ、共働きが当たり前となり、職場環境への配慮も当たり前となっているが、昨年から「さす九(さす九、男尊女卑)」という言葉がネットで話題になっています。

今回は、各地で子育て支援や男女共同参画推進に長年取り組んでいるママサミの皆さんをお招きし、24年たって、今一度、果たして「さす九」は九州だけなのか!?女性活躍推進への影響は?各地の事例と比較して未来へ解決策と全国成功例も!!

30年続く日本最古の現存する子育て支援ネットワークと語り合しましょう!

開催
日時

2025 10/11 (土) 13:00~15:00

会場

北九州市立男女共同参画センタームーブ2階 ホール
(北九州市小倉北区大手町11-4)

登壇者

福岡県男女共同参画センター「あすばる」前センター長 神崎 智子 さん(北九州市)

北九州市アジア女性交流・研究フォーラム国際情報課長、北九州市立男女共同参画センター・ムーブ副所長、あすばるセンター長、九州大学の男女共同参画・ダイバーシティ・社会連携等の担当理事などを歴任。福岡県はもちろん外国の男女共同参画の施策や現状に精通している。

NPO法人わははネット 理事長 讃岐おもちゃ美術館 館長 中橋 恵美子 さん(香川県坂出市)

子育てタクシーの生みの親であり、全国ひろば連絡協議会理事なども歴任。子育てパパが商店街でお買物する企画をはじめ、美容院が子育て支援のインフラとして機能する「子育て美容eki」など、香川県の子育て支援、男女共同参画についての様々な施策にも関わる。

NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク 代表理事 伊藤 千佐子 さん(宮城県仙台市)

ママミーズサミット全国ネット立ち上げ時からメンバー。現在、宮城県仙台市で3か所の子育てひろば運営を受託。24年前のムーブでの企画時には、アンケート調査を夫に依頼することでもできない東北エリアの実態を明らかにした。30年以上子育て支援と男女共同参画の現場第一線で活動している。

一般社団法人日本ファミリーナビゲーター協会 代表理事 田中 美賀子 さん(京都府亀岡市)

京都府亀岡市で子育て支援NPOを立ち上げ、その後、市の職員として妊娠中からの子育て支援に取り組む。本場フィンランドまでネウボラの研究に向き、大学院でも産後ママの孤立をテーマに取り組む。現在、妊娠期に見直す夫婦の関係づくりや子育てママのキャリア支援に取り組んでいる。

NPO法人ママミーズサミット・全国ネット 理事長、株式会社フラウ 代表取締役社長 濱砂 圭子 さん(福岡市)

30年以上前、地域で子育てする当事者にとって必要な地域密着型子育て情報誌を創刊、その後全国で同様の活動をする団体とママミーズサミット全国ネットを立ち上げた。常に男女共同参画視点での活動を行い、女性起業家としても全国に波及効果をもたらしている。

ママサミとは1995年発足、NPO法人ママミーズサミット・全国ネットの略。子育て支援を起点としたプロアクティブ集団です。毎年、メンバーのいる県で「ママミーズサミット」を開催し、各地で生まれた支援事業を披露し、子育て環境改善促進を目指しています。現在、21名のメンバーがいます。宮城、栃木、東京(2)、神奈川、京都、岡山、広島(2)、山口、香川、徳島、福岡(6)、佐賀、長崎、宮崎に会員がおり、各地で活躍しています。



30年続く
日本最古の
現存する子育て支援
ネットワーク

主催/NPO法人 男女・子育て環境改善研究所

共催/福岡県男女共同参画センター「あすばる」

協力/NPO法人 マミーズサミット・全国ネット 後援/北九州市

問い合わせ info@kosodate-npo.jp ☎092-718-8010

申込みは
こちら

事前申し込みができなかった場合は、当日参加もOKです。

